

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】令和2年10月15日(2020.10.15)

【公開番号】特開2017-78710(P2017-78710A)

【公開日】平成29年4月27日(2017.4.27)

【年通号数】公開・登録公報2017-017

【出願番号】特願2016-177532(P2016-177532)

【国際特許分類】

G 0 1 S 7/524 (2006.01)

G 0 1 S 15/93 (2020.01)

B 6 0 W 30/06 (2006.01)

【F I】

G 0 1 S 7/524 R

G 0 1 S 15/93

B 6 0 W 30/06

【誤訳訂正書】

【提出日】令和2年9月1日(2020.9.1)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 9】

図3に示すように、2つの電源端子(Vbat及びGND)の他に、例示の超音波センサのそれぞれは、单一の入力/出力(「I/O」又は「IO」)ラインによってECU202に接続されている。センサの接地端子(GND)は、特定用途向け集積回路(AVIC)センサコントローラ302の接地端子に直接接続されるように示される一方、Vbat端子は、RCフィルタ(抵抗器R2及びコンデンサC7)並びにダイオード注入型(D1)蓄積コンデンサC8を介して、センサコントローラ302の供給電圧(VSUP)端子に連結されている。RCフィルタは、任意の高周波雑音をさえぎる一方、蓄積コンデンサは、一時的な電力損失を防ぐ。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

单一の入力/出力ライン上でトリガ信号を検出することと、

前記トリガ信号に応じて、前記单一の入力/出力ライン上で少なくとも1つの状態ビットを、変換器からのセンサ信号の雑音レベルがしきい値を超えるか否かを示すために、提供することと、

前記少なくとも1つの状態ビットを提供することの後、前記センサ信号におけるエコーアルスの検出された持続時間に等しいアルスの持続時間を有するアルスで前記单一の入力/出力ラインを駆動することと、を含む、センサ制御方法。

【請求項2】

前記変換器で送信アルスを送ることを更に含み、

前記少なくとも 1 つの状態ビットを提供することは、前記送ることの間に生じる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

超音波変換器を駆動して、送信パルスを生成する送信部と、
前記変換器からセンサ信号を導出する受信部と、
单一の入力 / 出力ライン上でトリガ信号を検出し、前記单一の入力 / 出力ライン上で 1 つ以上のエラー報告ビットを応答的に提供した後、前記センサ信号におけるエコーパルスの検出された持続時間に等しいパルス継続時間を有するパルスで前記单一の入力 / 出力ラインを駆動するコアロジックと、を備え、前記 1 つ以上のエラー報告ビットは前記センサ信号の雑音レベルがしきい値を超えるか否かを示す、センサコントローラ。

【請求項 4】

前記コアロジックは、前記送信部を更に動作させて、前記トリガ信号に応じて前記送信パルスを生成し、前記 1 つ以上のエラー報告ビットは、前記送信パルスの生成中に提供される、請求項 3 に記載のコントローラ。

【請求項 5】

前記コアロジックは、前記変換器の残響時間をモニタし、前記 1 つ以上のエラー報告ビットは、前記残響時間が限度内か否かを示す、請求項 4 に記載のコントローラ。

【請求項 6】

前記コアロジックは、複数の潜在的なエラー状態をモニタする、請求項 4 に記載のコントローラ。